社員の御家族様、取引先様にお届けします。

【経営理念】全従業員と社会のために、私たちの行動哲学をもとに一つとなり、すべての力を最大限に活かすこと。

エムズホールド通信 Vol.20

2020 年 11 月 21 日発行（毎月第三土曜日）

発行所：エムズホールド株式会社 / Hanasaka リフォーム

〒525-0051 滋賀県草津市木川町 1595

TEL：077-574-8276

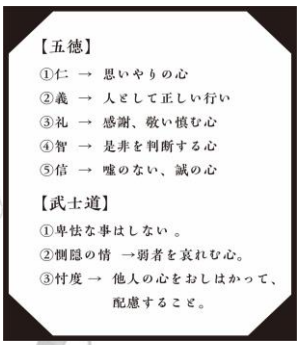
編集長：K.Konishi　　ご意見: denwa@mshold.com

編集者：H.Iida, Y.Shimazu　**日本語版** / インドネシア語版

言葉は現実となる！～魂を震わせる朝の取り組み！～

(朝の朗誦をする岡野部長)

弊社では毎朝の出社時に**【経営理念、行動哲学(五徳・武士道)、今日の言葉】**を朗誦する取り組みを行っている。「徳」とはその人の身に備わった品性を意味し、その徳を細分化したもの、それが「五徳(仁・義・礼・智・信)」である。また、武士道とは遠い昔から日本人の精神を支える倫理観の基礎となるものだ。そして最後の「今日の言葉」とは、経営管理部・西原が自身の人生を歩んできたうえで大切だと考える名言や格言であり、その名前の通り、日によって内容が変わる。その中で分からない単語が出てくると、弊社の技能実習生は朝からその単語を調べ、きちんと読み上げられるようにしてくる。まさに「即行動」を実践できるようになってきているのは、彼らの意識改革だけでなく、この取り組みの成果が確実に実を結んでいるからだ。もちろん実習生だけでなく、日本人従業員も仕事中でも分からないことや疑問に思ったことはすぐ質問、そしてやるべきことは「即行動」のような変化が表れてきている。この取り組みで面白いことは、従業員によって読み上げるタイプが違うところだ。とにかく早さを極めようとする者、一字一句間違えずにしっかり読み上げる者、大きな声でハキハキと読み上げる者。一人一人タイプや個性は違い、同じ文章だがそれぞれに違いがあって面白い。この取り組みに関して仮設事業部長・岡野涼輝は「**8 月からこの取り組みを始めましたが、従業員の動きが日に日に変わってきています。言葉に出すことによって脳内に定着し、人として正しくない行動をしようとしている時には、ブレーキがかかるようになったと感じます。私も含め、人間は色んな誘惑に惑わされることもありますが、そんな時には一度深呼吸をして、これらの言葉を思い出していきたいと思います。**」と話す。朝に大きな声を出し、右の言葉を口にする。そうすると、気合いが入るだけでなく、知らず知らずのうちに自分たちの潜在意識に働きかけ、動きに変化が現れ、次第にその言葉に沿った行動が出来るようになってくる。口に出した言葉は現実化していくのだ。



【五徳】
①仁 → 思いやりの心
②義 → 人として正しい行い
③礼 → 感謝、敬い慎む心
④智 → 是非を判断する心
⑤信 → 嘘のない、誠の心

【武士道】
①卑怯な事はしない。
②惻隠の情 →弱者を哀れむ心。
③忖度 → 他人の心をおしはかって、配慮すること。

月間 MVP 発表！～年間 MVP は誰の手に？～

(左から前田社長、アアー、和田、山中)

フェリエ南草津 5 階の小会議室にて、月次決算報告会議の後、毎月恒例の MVP 発表が行われた。日本人からは段取りの時に、小走りで積み込むことで労働時間の圧縮を心掛けたり、報告・連絡・相談をしっかり行ったりと、ひたむきにやるべき事にコツコツ取り組む姿勢が評価された初受賞の山中勝也と、先月に引き続き、実習生から、「**仕事の内容をきちんと教えてくれる**」と部下からリーダーとしての器の成長が認められている和田智仁が。実習生からは現場作業中に笑顔でテキパキ働く姿と、豪快な姿勢に好感が持てると評価されたアアーが選出された。次回の MVP は 11 月 28 日(土)に発表される。毎年、年末に発表される年間 MVP の行方は今のところ誰が受賞するか全くの不透明である。今年も昨年の覇者・小椋真里が連覇するのか？それとも他の従業員が受賞となるのか？はたまた成長著しい実習生が初の快挙か？従業員たちは今日もどこかソワソワしながら年間ＭＶＰを楽しみにしている。

ゆかいな編集者のひとりごと♪♪

みなさんは、未完成の教会「サグラダ・ファミリア」をご存知でしょうか？スペインの建築家、アントニ・ガウディが設計したものの、生前には完成することができなかった文化遺産です。自身が設計した建物の完成が見れないなんて、少し悲しいですね。このサグラダ・ファミリア、1882 年から工事を始めたのにまだ終わってないんです！長すぎる…。非常に難しい構造で完成まで 300 年かかる…。もはや完成しないのではないかとも言われたりしていましたが、最近では 3D 等の技術が発達し、2026 年には完成予定と言われています。「サグラダ・ファミリアが完成したらスペインへ行く」という私の夢が数年後に叶うかもしれないかと思うと今からうずうずしてしまいます！それにしても、工事し続けている教会がスペインきっての観光地になっているのはなんだか不思議な気がしますね。観光地で他の建物が工事中だったら残念な気持ちで帰ることになるのが普通だと思うのですが(実際私は奈良のお寺が工事中で、写真が撮れずしょんぼりと帰ったことがあります。)そのガッカリ感がないのがサグラダ・ファミリアの凄いところです。そう考えると、完成前の「未完の傑作」を見に行くのも良いのかもしれませんね！【―Y. Shimazu】

通い合うココロ！町内の皆様と日頃の感謝の意を込め清掃活動！

(地域の大掃除に取り組む実習生たち)

11 月８日(日)、弊社の技能実習生たちが住む社宅がある草津市湖都町で、防災避難訓練と大掃除が行われた。弊社からはいつもお世話になっている、実習生全員と、仮設事業部・布施樹乃が参加。初めに、9 時から、防災避難訓練が実施された。家にいる時に地震が発生したと想定し、机の下に避難し身を守り、その後、火元とブレーカーを確認。最後に「災害時安否確認ボード」という黄色い札を玄関外の人目につきやすい場所に立て掛けた。この札はもし自然災害が起きた場合に「この家はもう安否が確認されているから捜索の必要はない」と近隣の方々や救助隊に知らせることができるものである。防災避難訓練を終えた後は、町内会館前の公園に集合し、大掃除を開始した。段差があったり、フェンスを越えなければならない、普段なかなか掃除できない場所の掃除や、落ち葉を拾いながら町内の方々と交流を深めた。実際に町内活動に参加した布施は「**今回の活動では、町内の皆様の底抜けの温かさに触れることができました。大掃除では実習生たちを外国人だからと差別せずに「次はこの場所お願い！」や「これはこうした方がいいよ」などと丁寧に教えてくださったり、「若い子達がいると本当に助かる」と感謝の言葉も頂きました。また、「次亜塩素酸水の無料配布がとてもありがたいので、また機会があればしてほしい」と話してくださる方もおられ、人に必要とされることがこんなに嬉しいことなんだと再確認できました。ありがとうございました。**」と嬉しそうに語った。弊社はこのような地域貢献活動を最も大切にしている。湖都町の皆様には文化の違いでご迷惑をおかけしていることもきっとある。感謝の意を込めて、これからも町内の活動やお困りごとがあれば、すぐに駆けつけます。

語る猫と青い空
作：飯田

足場施工試験実施！～切磋琢磨し、育む力！～

(弊社独自の足場施工試験の様子)

先日、仮設事業部では勤務時間中の隙間時間を見つけて、弊社独自の足場施工試験を実施した。始まりは岡野部長の「**我々は普段、3チームに分かれて現場に向かうため、自分のチーム以外の作業を見る機会は少ない。今の自分の仮設足場の技術を見つめなおし、従業員たちが切磋琢磨できる関係になってほしい**」という熱い思いからである。従業員の岡野部長、和田智一、布施樹乃が試験官となり、他の従業員が足場を組み立てている様子をチェックし、弊社が独自に作成した評価シートに記入するというものだ。良い評価を得た者には岡野部長が特別賞を用意していると聞いた従業員たちは、意気込んで参加した。この試験により、今の自分に何が足りないのか、また、他人の作業レベルがどのくらいなのか客観的に見直せる良い機会になった。評価する側も普段自分がどのように行動し、指示を出す時はどのように出せば良いか考えながら評価するため、双方のスキルアップや労働時間圧縮に繋がる取り組みである。本通信編集者は遠くから見守っていたが、何もなかった所にあっという間に足場を作り上げ、またあっという間に解体されていく様子を見て、一生懸命に働く素晴らしい姿を見られた嬉しさと、同時にどうしたらあんなに素早くできるのだろうと不思議な気持ちにもなった。岡野部長が望んだように、今回の試験で自身の評価を見つめ直し、現状に甘んじることなく、仲間とともにさらなる技術向上を目指してほしい。

受け継がれていくもの　～言葉が与える影響～

「言葉は刃物なんだ。使い方を間違えると厄介な凶器になる。」

この言葉は「劇場版名探偵コナン ―沈黙の 15 分」で主人公が発した言葉である。最近、言葉が他人に与える影響を強く痛感し、言葉選びにはいつも細心の注意を払っている。良かれと思って発した言葉も相手を不快な気持ちにさせてしまうこともあるし、言葉を発するタイミングを間違えば、相手の心に大きな傷をつけてしまうこともある。また、情報技術の発達により、直接会って話したり、電話をすることが減り、LINE 等のコミュニケーションアプリが情報ツールとして使われるようになった。このようなアプリは誰かと連絡を取るうえで必要不可欠なものであるが、やりとりをする中で感情や言葉の真意が読み取りづらい点もあるので、より一層慎重に言葉を選ぶ必要がある。しかしながら、ちょっとした声掛けや言い方の違いで、相手の気持ちが満たされたり、モチベーションが上がったりする良い作用もあり、天性の素質を持った指導者はこの言葉の使い方を無意識のうちにやってのけるのだ。言葉の投げかけ方によって、受け取り手の才能が花開くか、枯れさせてしまうかは、我々の一番身近にある「言葉」次第なのかもしれない。

外壁屋根塗装工事
仮設足場設置工事
各種リフォーム工事
TEL：077-574-8276
お家に関する
お悩み…
何でも
ご相談ください！
地域とともに エムズホールド株式会社

ステリパワーでみんなの
リスクをコントロール
http://mshold.com/steripower/

バックナンバーはこちらから→http://mshold.com/reform/newspaper/

本通信は「アリキタリはオモロナイ！」を合言葉に編集者の独断と偏見で制作しております。